



各位

上場会社名 菊水電子工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 小林 一夫
 (コード番号 6912)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 齋藤 士郎
 (TEL 045-593-0200)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年3月1日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,560	△180	△170	△340	△37.24
今回発表予想(B)	4,874	3	5	△65	△7.19
増減額(B-A)	314	183	175	274	
増減率(%)	6.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	6,183	△346	△367	△1,195	△128.55

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,500	△100	△100	△330	△36.14
今回発表予想(B)	4,750	47	55	△165	△18.24
増減額(B-A)	250	147	155	165	
増減率(%)	5.6	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	6,041	△272	△290	△1,113	△119.71

修正の理由

1. 連結業績

経営環境は依然厳しい状況下にあり、当社グループが属する電子計測器、電源機器等の業界におきましても環境・エネルギー市場において動きは見られたものの、市場全体では厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中、各国政府による景気対策効果や海外景気を持ち直しを背景に、顧客の需要を確実に取り込んだことにより、売上高は前回予想を上回る見込みとなりました。

損益面につきましても、売上高の増加及び原価低減、経費削減等に努めた結果、営業利益、経常利益を計上する見込みとなり、当期純損失も前回予想より改善する見込みであります。

以上の理由から、平成22年3月1日に公表した通期業績予想を修正するものであります。

2. 個別業績

連結業績予想の修正理由と同様であります。

なお、平成22年3月期第4四半期において関係会社株式評価損80百万円を特別損失に計上する予定であります。個別業績予想の修正に当たっては、当該評価損を織り込んでおります。

※本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

以上